

平成24年4月吉日

ご支援金を寄せていただいた皆様へ

ふくしまキッズ実行委員会
委員長 進士 徹

2011年度 ふくしまキッズ活動支援のお礼

拝啓

ふくしまキッズ春プログラムは、4月3日をもって全日程終了しました。これをもって、ふくしまキッズ1年間のプログラムも完了したこととなります。

昨年夏休み・冬休みに引き続き、3歩目の春のふくしまキッズでした。支援を寄せていただいた皆様の温かいご理解と賛同をいただき、春は北海道・三浦・信州塩尻・飛騨高山の4カ所で開催できました。ここに篤くお礼を申し上げます。

最終コースの飛騨高山プログラムは、帰宅する4月3日はものすごい暴雨風の影響で、福島に戻る時間が約2時間遅れるというハプニングがありましたが、無事に親御さんの下に帰すことができました。

今回参加した子どもにとっても時間が経つにつれて、自分ヒストリーになる事と思います。

○北海道＝3回目の受け入れになります。旅に出るというユニークなプログラムの内容にも磨きがかかっていることを感じました。

○三浦＝海という特長を活かした、暮らし、食、農、魚という環境にマッチした内容でした。冬に続いての受入でした。

○信州塩尻＝フィールドもコンパクトにまとまり、地域の人達の支えや動物とのふれあいなど、支援していただいた小学校の子どもたちとの出会いもありました。

○飛騨高山＝歴史、文化一日本人のルーツを感じる活動でした。また、地域の教育に関わる地域の方々の協力をいただけました。

年間のプログラムを通して共通していたことは、子ども達を迎える体制で、多くのボランティアの方々の協力がものすごかったという事です。そして、福島の子もたちがその地域の方々、子ども達と共有する時間を持つことも共通していたことです。このことは今後のふくしまキッズのプログラム進行する上で、重要なキーワードになると思います。プチジャパンキッズにすでになっているという事です。

プログラムに参加した子ども達は福島に帰ってきて、進級する新年度を迎えます。ふくしまキッズで充電した元気と笑顔をバネに、見えない放射線をはね除け元気にまた次に再会出来る事を望んでいます。子ども達はその階段で大きく成長しています。きっと彼等は本当の社会のリーダーに育ってくれる気がします。

これまでの運営で改善、反省することは、すぐに修正して、次につなげたいと思います。そしてすでに夏に向けて迎えるための体制整備に着手しています。

今月21日には、京都でふくしまキッズの大会があります。関西方面でもふくしまキッズの風が吹きますように・・・福島の事は、日本人全ての事、自分の事として受けとめて欲しいからです。ふくしまキッズの活動が、持続的活動できるための伝導でもあります。関わる全ての人が良かったと思える＝幸せ＝日本列島福の島＝福島から発進＝ふくしまキッズ＝子どもが輝く笑顔と元気！

簡単ではありますが、ご支援を頂きました皆様にご報告とし感謝の意を表し委員長のご挨拶とさせていただきます。また夏の開催に向けて歩き始めます。

敬具